

## ●フェアトレードとは●

フェアトレードとは、日本語で「公正取引」「適正な報酬での取引」を意味します。生産者に不当なほどの低賃金での労働を強いたり、奴隷労働などを介していない取引のことを言います。一方的な資金援助ではないので、継続的に生産者の生活を支えることができる仕組みです。

## ●なぜフェアトレードが必要になるのか●

現代に入り先進国といわれる国々（主に北半球の国々、日本を含む）では工業が発展し、途上国といわれる国々（主に南半球の国々）から食料や石油などの一次産品を輸入し、それらを加工して輸出することで経済発展を遂げてきました。

反対に南の国々は、価格が安く、収穫量や採掘量が不安定な一次産品の輸出元にされ、価格が高く安定している工業製品の輸出先にされてきました。

結果、北の国々では経済が発展していったのに対し、南の国々の経済発展は抑えられてきました。これが児童労働や、低賃金・もしくは無給での奴隷のような労働、食料不足による飢饉など、様々な問題の原因となっています。

いいものを出来るだけ安く、というのは誰もが望むことですが、生産者に適正な価格すら支払われていないというのは問題です。日本を含む先進国の快適な暮らしは、少なからず途上国の貧しい人々を搾取することによって成り立っている、という現状はとても悲しいことではないでしょうか。

## ●コーヒー

1989年、国際コーヒー協定という取り決めが崩壊したことが一因となり、過剰生産が発生した為、今や生産者は生産コストのモトをとれないどころか、売れば売るほど大幅な損になる、という悪循環が出来てしまいました。この協定の崩壊の根源には、安ければ安いほどいい、という日本を含む先進国の身勝手さがあります。子どもを学校に行かせることはおろか、病院に行くお金も無く、日々の食糧にも事欠くといった状態の生産者が大勢います。

また、コーヒーを栽培する土では他の作物が育ちにくく、自給することが困難である為、貧困のあまり麻薬の栽培に手を出す農家も続出しています。コーヒーと麻薬は栽培条件が似ているのです。それが先進国に流れ、その国での犯罪率の増加にも繋がっています。

## ●チョコレート

カカオの産地では、現在でも奴隷労働（無給労働）が行われています。周りの国々から子どもたちが売買されて（文字通り、モノのように値段を付けられて売買されるのです）、もしくは高いお金を貰えると騙されて農園に連れて来られ、とても辛い労働を強いられるケースもあります。一度捕えられてしまうと、逃げ出すことは容易ではありません。

カカオを栽培する子どもたちの中には、カカオがチョコレートになるということを知らない子もいるそうです。多くの人々に幸せをもたらすチョコレートも、子どもたちの血と涙と汗で出来ている可能性は高いのです。

## ●服

「Sweat Shop（労働搾取している工場）」という言葉があります。人件費を浮かせるため、途上国の労働力を安く安く買い叩き、劣悪な労働条件で働かせて利益を得る、という非人間的なシステムを批判した言葉です。こういった搾取は高級ブランドに限らず、日本のあらゆるところで手に入る有名な安価メーカーでも広く行われています。

某メーカーの靴工場では、有毒な接着剤をまともな換気システムの無い劣悪な工場で用いていたため、働いていた中国人女性が半身不随になってしまった、という事件も起こっています。

こういった問題の解決策の一つとして、フェアトレードが生まれました。途上国での雇用を生み出し、貧困改善や経済的自立を促す目的があります。日本でも徐々に認知度が上がりつつありますが、世界的に見るとまだまだ市場は小さく、とても出遅れているのが現状です。しかし、日本のコーヒーの消費量は、アメリカ、ドイツに次いで世界第三位！チョコレートの消費量も多い国です。今より少しでも多くの人々がこの問題に関心を持ち、フェアトレードのものを生活に取り入れることで、多くの人々の助けとなる可能性を秘めているのです。